



だせいせきふ  
打製石斧

# じょうもんじ だい どうぐ 縄文時代の道具



どせいみかざ  
土製耳飾り



かいじん  
貝刃



ちゅうこう  
注口土器



縄文時代の人は、狩りや採集によって食料を調達し、掘りくぼめた地面に柱を立てて屋根をかけた竪穴式の住居に住んでいました。また、木の皮や植物の繊維を糸にして編んだ布や、動物の毛皮で作った衣服を着ていたと考えられています。

このような暮らしの中で、当時の人々は身近なもので様々な道具を作っていました。見た目は違う所もありますが、現代の私たちも同じような道具を使って生活しています。身の回りにはある道具と比べてみましょう。